

ピックアップ★

全ての地区で公立高校の 募集定員を見直します

★地区別中学校卒業見込者数と公立高校募集定員(学級数)の予定★

地区	中学校卒業見込者数 H29.3月卒業→H33.3月卒業		公立高校募集定員(全日制)* H29入学[校数]→H33入学	
	前橋	3,199	2,887(-312)	60学級 [9校]
伊勢崎・佐波	2,665	2,295(-370)	33学級 [6校]	33~30学級
高崎・安中	4,188	3,863(-325)	63学級 [11校]	58~55学級
藤岡・多野・富岡・甘楽	1,272	1,201 (-71)	25学級 [8校]	22~19学級
沼田・利根	791	655(-136)	18学級 [5校]	15~12学級
渋川・吾妻	1,590	1,329(-261)	29学級 [8校]	22~19学級
太田・館林・邑楽	4,097	3,776(-321)	66学級 [12校]	64~61学級
桐生・みどり	1,612	1,284(-328)	34学級 [7校]	27~24学級
県全体	19,414	17,290(-2,124)	328学級 [66校]	290学級

*平成33年入学の各地区の学級数は、高校教育改革推進計画(平成24年度~平成33年度の10力年計画)の予定数であり、今後の状況により変更する場合があります。

平成30年度入学生の高校別募集定員は、
平成29年6月に公表する予定です。

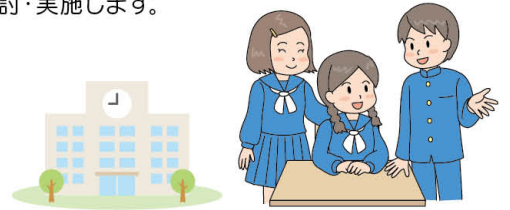
県内の中学校卒業業者数が急速に減少するため、全ての地区を対象に県立高校全日制課程の募集定員を、平成33年度までの4年間に、全県で38学級(約1,520人)程度減らします。

募集定員はどう決めているの？

県立高校の募集定員は、全県・地域ごとの中学校卒業見込者数をもとに、志願状況などを考慮しながら、全県的・長期的な視点から、年度ごとに決めています。

どの高校を減らすの？

本県の教育水準の維持・向上を図る観点から、これまで長く学級減を行ってこなかった志願倍率の高い都市部の高校も含め、学級減を検討・実施します。



●問い合わせ：高校教育課 027-226-4644

文化財ライブラリー

Vol. 7

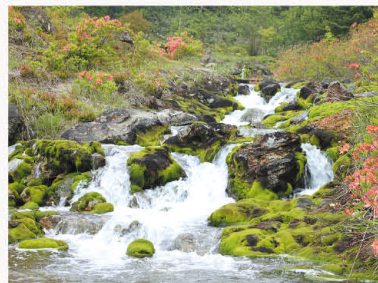
鉄を作る生き物 たちの楽園

国指定天然記念物

六合チャツボミゴケ 生物群集の 鉄鉱生成地

場所：吾妻郡中之条町大字入山13-3
(チャツボミゴケ公園内)

チャツボミゴケ生物群集とその鉄鉱生成地は、草津白根山の東側の標高1,200mの地点にあります。第二次世界大戦中や戦後の鉄不足のときに採掘されていた群馬鉄山跡地で、現在ではチャツボミゴケ公園として整備されています。



酸性の川である元山川の源流部に当たるこの場所は、温かい強酸性の鉄泉水が湧き出し、多くの動植物にとって過酷な環境です。しかし、チャツボミゴケにとっては生育に適した環境で、日本最大の繁殖地となっています。

チャツボミゴケや鉄バクテリアなどの生物活動の副産物として、鉄鉱が生成されていて、1万年以上前から現在まで生成が続けられています。群馬鉄山はこうして生成された鉄鉱床と考えられています。

生物による鉄鉱生成の働きと人間の関わりについて見ることができる貴重な場所として、2月に国天然記念物として登録されました。

鉄を作る生物

チャツボミゴケはたくさんあるコケの中でも最も酸性に強いコケです。私たちの胃液(pH2.5)と同じくらい強い酸性濃度の特殊な環境で繁殖します。

チャツボミゴケや鉄バクテリアなどは、水中に含まれる鉄イオンを使ってエネルギーを得るときに、副産物として鉄鉱を作ります。また、体内に鉄などを蓄積するので、これらの生物の死骸が沈殿することで、褐鉄鉱床ができます。

チャツボミゴケは、強い酸性の温水に触れることで、鮮やかな緑色になります。



チャツボミゴケへの鉄の沈着

●問い合わせ：文化財保護課 027-226-4684